

令和2年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～					
	施策	05 生きがい ー市民のみんなで学ぶ、地域で学ぶを推進しますー					
重点プロジェクト		” オールふじみ野” まちづくりプロジェクト					
主管課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者				本橋 直人	
		評価日				令和3年6月4日	
関連課	学校教育課、社会教育課						
目標	夢が広がり、生涯を通して学び続ける環境づくりの推進に向けて、多様なニーズを踏まえた市民の生きがい学習への参加機会の創出と支援を行うとともに学んだ経験を地域に還元する仕組みを構築します。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 生きがい学習環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民大学ふじみ野をはじめとする様々な生きがい学習の環境整備を進めます。 ○各世代に応じた講座の開設など、市民のニーズに応じた学習メニューを充実させ、学習活動を支援します。 <p>(2) 生きがい学習の地域還元</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民大学ふじみ野の修了生や生きがい学習ボランティア人材登録制度などを活用し、学びの成果を地域に還元する仕組みを構築します。 						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標 1	指標名	生きがい学習受講生数					
		説明	生きがい学習まちづくり出前講座、子ども大学ふじみ野、生きがい学習ボランティア派遣による学習の参加者は、市民の生きがい学習を推進する指標となるため。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	360	380	410	440	470	500
		実績値	297	163	39			
	指標 2	指標名	市民大学ふじみ野の修了生の活動実績数					
		説明	市民大学ふじみ野を受講し、その知識や技術を活かして地域活動に参加した回数。受講後、学んだ経験を地域へ還元する指標となるため。(平成28年度からの実施事業。指標の数値は累計)					
		単位	回					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	20	30	45	60	80	100
		実績値	0	6	8			
	指標 3	指標名	生きがい学習ボランティアの活動実績数					
		説明	生きがい学習を支援するボランティアの活動実績数。市民による生きがい学習の機会を創出する指標となるため。(平成27年度の一部制度を改正。指標の数値は平成27年度からの累計)					
		単位	回					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	7	10	15	20	25	30
		実績値	9	11	11			
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	5,994	6,238	6,154	6,646		
	人件費	12,712	12,367	6,850	9,348		
収入	特定財源	166	136	83	184		
	一般財源	18,540	18,469	12,921	15,810		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	子ども大学ふじみ野の開校	文京学院大学・東入間青年会議所・ふじみ野市が実行委員会を組織し、小学校4年生から6年生までの児童を対象に、学校では学べない専門的なカリキュラムを提供する。	文京学院大学及び東入間青年会議所と協議し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とした。	生きがい推進事業（一部）
取組②	市民大学ふじみ野の開催	地域での学びの促進と人材育成を目標に、NPOとの協働により市民大学ふじみ野において講座を開催した。	レギュラー講座13回(参加者105人)、特別公開講座1回(参加者108人)、学び合い講座4回(参加者31人)を実施した。募集定員を超える申込がある講座もあり、市民ニーズに適合した講座が実施できている。	市民大学ふじみ野運営事業
取組③	生きがい学習ガイドブックの作成	令和元年度中から公民館利用団体等に団体・サークル情報掲載依頼や、市内実施イベントや市内で活動しているボランティア団体の情報収集を行い、令和2年6月上旬に2,000部を発行した。	生きがい学習ガイドブック閲覧者から団体・サークルに関する照会が103件あった。また、生きがい学習まちづくり出前講座を30講座掲載し、そのうち4講座が実施され延べ39人が参加した。市民が活動に参加する橋渡しや学習活動の支援が図られた。	生きがい推進事業（一部）
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	<p>生きがい推進事業及び市民大学ふじみ野運営事業とも、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座を実施するにあたり、募集定員の縮小や入室時の検温実施等を行った。</p> <p>サークル活動への問い合わせや生きがい学習まちづくり出前講座の申込が行われたことから、市民の生きがい学習ガイドブックの活用機会が見受けられた。引き続き、市民への生きがい学習の機会提供を図っていく。</p> <p>市民大学ふじみ野運営事業は、業務委託をしているNPOが人気のある講座を実施できているが、講座内容の固定化、受講者の地域還元場所の充実化が課題にある。受講者が学習内容を地域で活用できる講座や、新たな講師として活躍できる講座の実施をNPOと協働し進めていく。</p>
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	生きがい推進事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	05 生きがい –市民のみんなで学ぶ、地域で学ぶを推進します–		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	村田 頼信	
事務事業期間	平成27年度～	評価日	令和3年4月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	地方自治法等			
事務事業の内容	事務事業の目的	多くの市民に学ぶことの重要性や必要性を認識していただくとともに、生涯学び続けたいという意識を高め、学んだ知識を通じて地域で活躍できる人材の育成を図るため事業を展開する。		
	事務事業の経緯	生涯学習分野については従来の教育部局にとらわれず、他の分野と有機的に連携した施策展開を行うため、平成27年度から市長部局に移管された。ふじみ野市で取り組む生涯学習推進体制を「生きがい学習」と称し、事務事業としての位置づけを行ったものである。平成29年度に市民カレッジ及び市民企画講座は、市民大学ふじみ野運営事業へ移管した。		
	事務事業の概要	①生きがい学習まちづくり出前講座：行政の取組、情報発信の仕組の一環として出前講座を提供 ②子ども大学ふじみ野：小学4～6年生を対象とし、学校で学べない専門的カリキュラムを提供 ③生きがい学習ボランティア登録制度：様々なボランティアを募るための登録制度を実施 ④生きがい学習ガイドブック：サークル等、学びの情報提供の一環として年1回情報誌を発行		
	令和2年度の主な取組	・生きがい学習まちづくり出前講座を4件実施した。 ・令和2年6月に「ふじみ野市生きがい学習ガイドブック2020」を発行した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.55	0.27	0.36
		人件費	4,388	2,176	2,901
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	4,388	2,176	2,901	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	152	151	153	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	80	0	80	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	27	27	56		
	支出合計	4,647	2,353	3,190	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	4,647	2,353	3,190	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		41	20	28	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	生きがい学習受講生数		
	説明	生きがい学習まちづくり出前講座、生きがい学習ボランティア派遣による学習、子ども大学ふじみ野の参加者数は、事業目的に対する関心度や効果を反映するものとして見なせ、市民の生きがい学習を推進する指標となるため。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	380	410	440
	実績値	163	39	
指標 2	指標名	生きがい学習まちづくり出前講座の実施メニュー数		
	説明	出前講座の実施メニュー数は、情報発信の仕組みづくりや地域社会との情報交換の仕組みづくりの一環として事業目的の効果度が図れるため。		
活動	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	35	35	35
	実績値	28	30	
指標 3	指標名	生きがい学習ボランティアの活動実績数		
	説明	生きがい学習を支援するボランティアの活動実績数。市民による生きがい学習の機会を創出する指標となるため。(指標の数値は制度を一部改正した平成27年度からの累計)		
成果	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	10	15	20
	実績値	11	11	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【実施内容】
	<p>①生きがい学習まちづくり出前講座 メニュー数 30件、申請件数4件、実施件数4件、参加者数39人</p> <p>②子ども大学ふじみ野 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。</p> <p>③生きがい学習ボランティア登録制度 ・登録ボランティア数 団体 4団体、個人22人 ・講座実施 申請件数1件、実施件数0件 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。 ・登録ボランティアの1人は、市民大学ふじみ野「学び合い講座」にて講師として活躍しており、令和2年度は4講座を実施し延べ85人が参加した。</p> <p>④ふじみ野市生きがい学習ガイドブック2020 2,000部を6月上旬に発行し、市内公共施設に配架。 掲載されているサークル・団体情報については、103件の仲介を行った。</p> <p>【効果】 生きがい学習まちづくり出前講座の実施及びふじみ野市生きがい学習ガイドブック2020の発行により、市民へ学びの情報を提供し、市民の生きがい学習意識の向上を図ることができたと考えられる。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和6年度に更新を迎える「生きがい学習推進計画」の策定に合わせ、新文化施設の方向性や公民館の在り方等と連動しながら、生きがい学習事業の方向性を検討していく。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	市民大学ふじみ野運営事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	05 生きがい –市民のみんなで学ぶ、地域で学ぶを推進します–		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	村田 頼信	
事務事業期間	平成28年度～	評価日	令和3年4月1日	
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	「市民の学び 地域の学び 知の好循環」を基本理念に、市民による市民のための学びの場を提供する。「市民」「地域」「市民大学ふじみ野」が連携を図り、有機的に結合することによって、地域の課題解決策の提案や実践していく人材育成を行い、もって「知の好循環」を目指す。		
	事務事業の経緯	市民と地域と行政が連携しながら、各々の学習内容を地域活動によって還元することを原則に、更なる学びの推進と地域力の向上に資するとともに、地域課題の解決方法の提案、実践する人材を育成しながら「知の好循環」を目指すことを目的に、平成28年度に開講し、令和2年度で5年目を迎えた。		
	事務事業の概要	市民大学ふじみ野の実施主体は市であるが、市民のニーズを的確に把握し、迅速かつ柔軟性のある運営を推進するため、平成28年1月に設立された特定非営利活動法人ふじみ野みらいに講座等の企画運営や市民大学ふじみ野の事務局運営を委託形式により行っている。		
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・レギュラー講座、学び合い講座：新型コロナウイルス感染拡大防止のため受講者定員を例年より削減した。講義室内の清掃・消毒に十分配慮し、受講者の手指消毒や体調管理を徹底し講座を実施した。 ・特別公開講座：ふじみ野市アルツハイマー月間に合わせ、高齢福祉課との共催イベントとして、認知症の映画上映と講演会を大井中央公民館ホールで行った。 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.55	0.27	0.41
		人件費	4,388	2,176	3,304
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,388	2,176	3,304	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	3,460	3,531	3,477	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	0	0	0	
支出合計		7,848	5,707	6,781	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	86	83	112
一般財源		7,762	5,624	6,669	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		68	48	58	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民大学ふじみ野講座数		
	説明	市民大学ふじみ野で実施されるコースの数(学び合い講座、特別公開講座を含む)は、事業の目的に掲げる人材育成を充実させていく取組みの指標として見なせるため。		
活動	単位	講座		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	23	25	25
	実績値	13	17	
指標 2	指標名	市民大学ふじみ野受講者数		
	説明	市民大学ふじみ野で実施する各種講座の受講者数は、事業目的に対する関心度や事業効果を反映するものとして見なせるため。平成30年度より、特別公開講座(旧市民カレッジ)及び学び合い講座(旧市民企画講座)を受講者数に追加する。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、受講者定員に制限を設けているため、360人から340人に下方修正をする。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	300	340	360
	実績値	301	244	
指標 3	指標名	市民大学ふじみ野の修了生の活動実績数		
	説明	市民大学ふじみ野を受講し、その知識や技術を活かして地域活動に参加した回数。受講後、学んだ経験を地域へ還元する指標となるため。(平成28年度から実施している事業。指標の数値は累計)		
成果	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	30	45	60
	実績値	6	8	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【実施内容】
	<p>①レギュラー講座 専門性の高い講座から人気の講座まで幅広いジャンルからテーマを選定する基本となる講座 前期：6講座(受講者43人) ※うち1講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施中止 後期：7講座(受講者62人) スマホ講座は人気が高く、定員を超える申込があり、追加講座を実施した。修了者の活躍が見込める資料館案内ボランティア養成講座を行った。</p> <p>②特別公開講座(文京学院大学) 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし。</p> <p>③特別公開講座「ぼけますから、よろしくお願ひします。」映画・講演会 高齢福祉課と共同でアルツハイマー月間に合わせ開催した。 実施日：令和2年9月12日(土) 会場：大井中央公民館ホール 映画：「ぼけますから、よろしくお願ひします。」 講演：「認知症が私たち家族にくれたギフト」 講師 信友 直子 氏(「ぼけますから、よろしくお願ひします。」監督) 受講者：108人 受講料：無料(市民大学の周知を図るため。)</p> <p>④学び合い講座 市民が講師となり、市民間の学びの循環の場を提供した。 前期：2講座(受講者16人) 後期：2講座(受講者15人)</p> <p>【効果】 市民ニーズに合った講座を提供でき、「知の好循環」の一助を図れたと考えられる。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市民ニーズに合った講座や人気のある講座を展開できているが、カリキュラムの固定化が見受けられる。NPOと連携し、市民大学ふじみ野の目的である、市民力・地域力の向上を目指し、人材育成や地域還元が図れる講座の展開に努める。また、市民の学習意欲を刺激する魅力のある講座を実施していく。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民憩の森管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～			
	施策	05 生きがい –市民のみんなで学ぶ、地域で学ぶを推進します–			
予算費目 一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費					
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成25年度～		評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等 ふじみ野市市民憩の森条例、ふじみ野市市民憩の森条例施行規則					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民憩の森において、自然とのふれあいを通して、青少年の野外体験活動、地域コミュニティ及び異世代間の市民交流の推進を図る。			
	事務事業の経緯	平成25年3月をもって土地返還した鶴ヶ岡青少年野外活動ひろばの代替施設として、聖路加国際病院が市内に所有する山林を「使用貸借契約」により借受け、「ふじみ野市市民憩の森」を平成25年7月1日（条例施行）に設置した（平成25年7月16日から供用開始）。			
	事務事業の概要	①野外活動広場・レクリエーション広場の貸出し業務 ②施設の維持管理			
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション広場の利用者に対し、公共施設予約システムの利用について手引きを行った。 新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底を図り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.45	0.31	0.39
		人件費	3,591	2,498	3,143
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.07	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,591	2,498	3,143	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	278	196	332	
	委託料	2,240	2,243	2,384	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	1	8	164		
支出合計		6,110	4,944	6,023	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	50	0	72
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		6,060	4,944	5,951	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		53	43	52	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民憩の森利用登録団体数		
	説明	3月末日時点の公共施設予約システムの利用登録団体数を基礎指標とみなし、活動指標として設定する。令和2年度実績より、令和3年度目標値を80団体から95団体に修正をする。		
活動	単位	団体		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	80	80	80
	実績値	92	93	
指標 2	指標名	市民憩の森開場日数		
	説明	条例に基づき、安全で適正に開館した日数を活動指標として設定。令和元年度及び令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による利用制限のため、レクリエーション広場利用可能日数を用いた。		
活動	単位	日		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	344	344	343
	実績値	305	287	
指標 3	指標名	市民憩の森利用者数		
	説明	施設の利用数を基礎指標と見なし、成果指標として設定する。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	110,000	110,000	110,000
	実績値	9,616	6,383	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>◎利用促進に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設予約システムの利用が困難な高齢者向けの受付会議を開催し、希望者へ公共施設予約システムの使用方法の説明を行った。 施設の周知及び利用促進のため、市報(令和3年3月号)に記事を掲載した。 協働推進課に限られていた利用許可及び利用料免除申請を、インターネット予約済みのレクリエーション広場利用団体に限り、大井総合支所でも受付可能とした。 <p>◎施設の安全・安心のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹木：施設内の樹木が高齢のため、枯れ枝・折れ枝が頻発する。かかり枝が発生した際には、迅速に現場に向かい、利用者の安全を守るため、適切な対応に努めた。さらに、枯れ木については倒木を未然に防ぐため、全て伐採を行った。また、樹木剪定については、令和元年度まで年4回だったものを、悪天候など突発的な対応に備えるため、令和2年度より年5回に変更した。 害虫：スズメバチが発生した際には、近辺への利用者の立ち入りを禁止し、施設内に注意書きの貼付けを行った。カシノナガキクイムシの発生が疑われた際には、川越農林振興センターと協力し、虫を捕獲するためのトラップを設置した。いずれの場合にも、利用者の安全確保のため、迅速に対応した。 <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月4日から令和2年5月31日まで野外活動広場及びレクリエーション広場の利用を禁止した。(令和2年4月1日から令和2年4月3日を除く) 令和2年6月1日以降はレクリエーション広場に限り、人数制限を設けて再開した。 令和2年7月21日より、レクリエーション広場のグラウンドゴルフ用具の貸出を再開した。 緊急事態宣言の発令に伴い、令和2年4月から令和2年6月まで及び令和3年1月から令和3年3月までの対面による受付会議を中止とし、郵送による受付を行った。 <p>◎事業効果</p> <p>利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	利用者の安全・安心への取組として、樹木の適切な管理が必要である。施設内には230本を超える樹木が存在し、ほぼ全てが高齢樹木である。生育状況や影響について、剪定業者のアドバイスを受けながら、適切に管理していく必要がある。
中長期的方向性	
継続	